

< 内定先 >

福祉

< 県内就職おめでとう！キャンペーン >

とっとり就活体験記（23卒）



4年生大学
<文系>



とっとり就活に
「とっとりふる」を
活用しました！

① 鳥取県での内定先を選んだ理由を教えてください。

地元で、地域をフィールドとした仕事をしたいという思いがあったから。同じ職種で、働く場所の異なる企業をいくつか見ていたが、見学を行った際、「ここだ！」「なんと風通しがよさそうな場所なんだ！」という直感と感覚があり、この内定先を選んだ。実家から近く、家族ともすぐに会える距離も決め手となった。

② 就職活動はいつ頃から、どのように進めましたか？ 内定獲得までの道のりを教えてください。

就職活動を始めたのは、4年生の3月頃から。鳥取県が主催する就活イベントに3月頃からオンラインで参加していた。5月頃には、第1志望が決まった。その後は5月から8月にかけて、第1志望とそれ以外の気になる企業も含め3箇所、見学を行った。5月に第1志望の企業を見学した際、採用試験が秋以降になると分かった。そのため、その後6,7月にかけて、事前にいくつか気になる企業の採用試験を受け、内定をいただいた。8月に最後の企業見学に訪れた際、「私はここだ！」と思い、第1志望をここに変更し、すぐに採用試験を申し込んだ。8月中旬に試験があり、8月下旬に内定をいただいた。

③ 就職活動をする上で役立つツールを教えてください。

鳥取県公式アプリ「とっとりふる」
とっとり就活ナビ
各企業 HP

④ 就職活動をするにあたって「頑張ったこと」「工夫したこと」を教えてください。

就活が本格的に始まる前に、自分の「軸」を見つめる作業に多くの時間を割いた。自分のやりたいこと、わくわくすること、大切にしたいこと、譲れないもの等を紙に書き出していた。漠然としたモヤモヤやどこに向かうか分からない不安を、文字として見える形にしたことで、すっきりできたと思う。何度も堂々巡りをしたが、この時間をもったことで、妥協せずに自分の道を決められたと思っている。

⑤ やっておいで良かったこと、活かすことができた場面を教えてください。

気になる企業に見学に行っておいて、本当に本当によかったと思う。実際に職場へ行き、どんな人がどんな表情でどんな雰囲気働いているか、という中の部分は、実際に足を運んで自分の目で見ないと分からないなと思った。そして、そこで感じる「風通しいいな」「解放的だな」等のふとした感覚こそが大事だなと思

った。私が最終的に就職先を決めた企業も、この「風通しがいい」という感覚と直感が大きな決め手となった。実際に目で見て感じることは大切だなと実感した。

⑥ これから就職活動を迎える学生へ、メッセージ・アドバイスをお願いします。

私は、「あなたと企業は対等です」ということをお伝えしたいです。大学の進路相談とか就活サイト等で、「選ばれるために！」みたいな指導、ありますよね。採用試験官に好印象を与える回答はなにか、どういう趣味・夢を持っていると答えるべきか、みたいな。私はそういう話を聞いて、「型にはめようとせんでくれん？」って思っていました笑。でもいざ試験間近となった日、「本当のことを言ったら落とさせるんじゃないか」と、躊躇う時期があったんです。あんなに正直でいたいと思っていたのに。そんなとき、「あなたも企業を選考する立場にいるんだよ」という言葉を親からもらいました。私が本当のことを言い、それで受け入れてもらえないなら、その企業に入ったところで私はわくわくして働けない。なら、本当のことを言い、それを受け入れてくれた企業で、わくわくして働きたいと思いました。

第1志望の前に受けた企業で、私の本当の思いを言い、面接中に面接官とバチバチになったことがありました。しかし結果、その企業は私に内定を出してくれました。これは運がいいケースだったのかもしれませんが、結果がどちらにしろ、そのままの自分で採用試験官と話が出来たことが、とてもよかったと心の底から思っています。

就活に不安を抱えていらっしゃる方も多いと思います。でも、就活が人生のすべてではないこと、そして、あなたも企業を選ぶ側にいるということを忘れず、身軽な気持ちでいてほしいなと思います。身体や心が疲れたら休むことが大事です。休むことに罪悪感を感じる必要はないので、休みたいときはとことん休んで、元気になったら「やるか～」という気持ちでいてほしいなと思います。

みなさんがわくわくした場所に出会えるよう祈っております。